

渡 名 教 委 第 9 9 号
令 和 元 年 1 2 月 2 7 日

沖縄防衛局長 殿

渡名喜村長 桃原 優



令和元年度特定防衛施設周辺整備調整交付金に係る事業評価書の送付及び公表について

「特定防衛施設周辺整備調整交付金に係るPDCAサイクル実施要領」第2項及び第4項の規定に基づき、別添のとおり「令和元年度特定防衛施設周辺整備調整交付金に係る事業評価書」を送付するとともに渡名喜村ホームページへ掲載し、公表致します。

事業評価書

補助事業名	渡名喜小学校遊具購入						
補助事業者名	渡名喜村長						
実施場所	渡名喜村地内						
補助事業の成果の目標	本村の幼稚園及び小中学校は同一施設に併設されているが、現在、施設内にはブランコ及び鉄棒のみ設置されている状況である。そのため、本事業により学校関係者から要望のある遊具を設置し、児童の体力、運動能力の向上及びコミュニケーションの場としての活用を図る。						
補助事業の内容	遊具一式						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
	事業費	円 2,268,000	円	円	円	円	円 2,268,000
	交付金額	2,268,000					2,268,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより児童の体力、運動能力の向上及びコミュニケーションの場として役立てることができた。また、教職員、保護者及び児童へアンケート調査を行ったところ、「体育の授業で体づくりが取り組めた、遊具が円滑なコミュニケーションの場となっている」との回答が得られたことから、本事業の成果の目標を達成できたと評価する。 【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を下記の方法により、村民への周知を図る。 ①村ホームページへ掲載(2月予定) ②広報誌へ掲載(3月予定)						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、当施設の維持管理を適切に行い、児童が安全かつ利用しやすい環境の保全に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						

渡名喜小学校遊具 アンケート（結果集計表）

（教員用）

・今回の整備についてどう思いますか。

選択肢	回答数	割合
とてもよかった	13	100.0%
どちらでもない	0	0.0%
整備しなくてよかった	0	0.0%
	13	100%

・今回の整備によって児童生徒の体力、運動能力が向上したと感じますか。

選択肢	回答数	割合
そう思う	7	53.8%
そう思わない	0	0.0%
どちらでもない	6	46.2%
	13	100%

・遊具は円滑なコミュニケーションの場になりましたか。

選択肢	回答数	割合
そう思う	12	92.3%
そう思わない	0	0.0%
どちらでもない	1	7.7%
	13	100%

（保護者用）

・今回の整備についてどう思いますか。

選択肢	回答数	割合
とてもよかった	5	83.3%
どちらでもない	1	16.7%
整備しなくてよかった	0	0.0%
	6	100%

・今回の整備によって児童生徒の体力、運動能力が向上したと感じますか。

選択肢	回答数	割合
そう思う	1	16.7%
そう思わない	0	0.0%
どちらでもない	5	83.3%
	6	100%

・遊具は円滑なコミュニケーションの場になりましたか。

選択肢	回答数	割合
そう思う	4	66.7%
そう思わない	0	0.0%
どちらでもない	2	33.3%
	6	100%

（生徒用）

・今回の整備についてどう思いますか。

選択肢	回答数	割合
とてもよかった	14	66.7%
どちらでもない	5	23.8%
整備しなくてよかった	2	9.5%
	21	100%

・今回の整備によって児童生徒の体力、運動能力が向上したと感じますか。

選択肢	回答数	割合
そう思う	7	33.3%
そう思わない	8	38.1%
どちらでもない	6	28.6%
	21	100%

・遊具は円滑なコミュニケーションの場になりましたか。

選択肢	回答数	割合
そう思う	13	61.9%
そう思わない	2	9.5%
どちらでもない	6	28.6%
	21	100%

(全体)

- ・今回の整備についてどう思いますか。

選択肢	回答数	割合
とてもよかった	32	80.0%
どちらでもない	6	15.0%
整備しなくてよかった	2	5.0%
	40	100%

- ・今回の整備によって児童生徒の体力、運動能力が向上したと感じますか。

選択肢	回答数	割合
そう思う	15	37.5%
そう思わない	8	20.0%
どちらでもない	17	42.5%
	40	100%

- ・遊具は円滑なコミュニケーションの場になりましたか。

選択肢	回答数	割合
そう思う	29	72.5%
そう思わない	2	5.0%
どちらでもない	9	22.5%
	40	100%

(自由記入欄)

(生徒)

- ・つくってくれてありがとう
- ・毎日、学校に来て雲梯と登り棒であそんでいる。
- ・少し難しい。なかなか出来ない
- ・シーソーがあったらいいな

(保護者)

- ・使用出来る年齢が限られている。
- ・正しい遊具の使い方の説明をしてほしい。

(教員)

- ・体力運動能力の向上につながっているかは、正直わからないが、外遊びをしている姿を以前よりも見かけるようになった。「できるようになった」と喜ぶ姿、チャレンジしようとする姿もある。→小学生

- ・体育の授業で、体づくりでも取り組めた。最初なかなか出来ず、補助付きで楽しんでいたが放課後も遊びの中に雲梯、登り棒をやる姿がみられるようになった。→出来るようになって今は喜んでいきます。→継続して取り組めるように声かけ、何かしらのしかけは必要

[ここに入力]

令和元年度渡名喜小学校遊具購入

